

みんなの文芸

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記して企画財政課までお寄せください。1人1句、1首に限ります。

3日必着

短歌 (投稿順)

青空を割いて飛行機尾を引いて明日の天気占って飛ぶ
 日中間の悪化の原因未だ続く総理の発言撤回回避し
 年明けに早速一つ歳重ねどう生きるかを考える夜
 夕映えの光の中にあること感懐無量しあわせ凶鑑
 仕来たりは縮少せるも七草の粥を食せば心安らぐ
 受付に短歌俳句を提出し小さな希望新年に託す
 ポチ袋に干支の午折りお年玉手にし幼ら馬よと走る
 町営風呂呂月がとつても青いから遠まわりして帰ろうムリムリ
 警察庁安月給と言う父に学費もらわず働らき学ぶ
 百歳を目差しましょうよと気丈なる友の電話に励まされたり
 ゆるやかににはじまりゆくや年の暮やさし陽を受け賀状書くなり
 ドブネズミ写真にや写らぬ美しささそうした者に私はなりたい
 文化財入りて認む抹茶パフェ甘さの奥に時代は薫る
 初日の出雲ひとつ無き青空に平和を願う光芒仰ぐ

皆野 大澤 貴夫
 皆野 根岸 詩子
 下田野 新井 節子
 皆野 萩原 初恵
 三沢 新井 叶子
 三沢 引間 万亀
 皆野 戸塚喜久雄
 上田野 四方田利男
 下田野 浅見 豊子
 国神 藤原マキ子
 皆野 林田 凜太
 皆野 打木 昭廣
 皆野 村田ハツ代

俳句 根岸茉莉 選 投稿数 39 句

雪霏々と銀に溶けゆく石地蔵
 (評)「雪は天から送られた手紙」とは人工雪、雪の結晶で知られる中谷宇吉郎博士の言葉です。とりわけふわりと舞い降りる初雪には心がときめきます。静かに降り出した雪はいつの間にか勢いを増し、周りの景色を銀世界に変えていきます。小道に立っている石地蔵の頭にも肩にも積もり、少しずつ雪に隠れてきました。作者は、その様子を、銀に溶けゆく」と美しく表現しました。二句目、今までもこれからも自分の進む道を見据え、実現に挑む若者の心意気、素晴らしいです。きつと努力の報われる時がやってくるよ！心から応援しています。三句目、新春短歌展出品のため丁寧に摺った墨。よい作品の出来上がりです。間近なる」に緊張感と期待感が伝わってくる良句です。

我が道を挑み続ける去年今年
 皆野 太幡琉美花
 初硯短冊展の間近なる
 三沢 新井 民子
 蒼穹の果てしなき日や春立ちぬ
 皆野 根岸 詩子
 落葉踏み上野三碑を巡りけり
 皆野 櫻井 早苗
 終点の駅から仰ぐオリオン座
 皆野 島 弘
 馬鈴薯の種売り出され陽の動く
 皆野 萩原 初恵
 門口に鯛柵鬼遣らひ
 国神 鈴木 正文

皆野 中田 秀夫
 枯草の野良猫起こす散歩かな
 下田野 浅見 和雄
 数へ日や指に馴染みの筆洗ふ
 三沢 新井 叶子
 いちようの木きれいなきいろにんきもの
 三沢小二年 小河 美月
 朝日受け霜のきらめく通学路
 三沢小六年 飯塚 夏生
 土につもるカラフルじゅうたん紅葉かな
 三沢小六年 加藤 柚花

ようばけや枯山に太古のミルフィーユ
 皆野 花垣好比古

み～なちゃん食堂



期 日 3月8日(日)
 時 間 正午～午後0時30分
 場 所 総合センター
 費 用 中学生以下：無料 高校生以上：1食200円
 予約受付 2月16日(月)～3月4日(水)
 ※上限数(80食)に達し次第受付終了
 申込み ☎070-5544-7049
 ✉minachanshokudo@gmail.com



申込みフォーム

まんげつ食堂

期 日 2月12日(木)、26日(木)
 時 間 午後4時～8時
 場 所 リルの家(大字皆野905番地)
 費 用 子ども・学生：無料 大人：1食200円
 予約受付 開催日の3日前まで
 ※締切後のご利用はご相談ください。
 申込み ☎070-5544-7049
 ✉mangetushokudo@gmail.com



申込みフォーム

こども食堂